

処理手間機器等に係る処理に向けた取組の進捗状況について

赤字は平成25年度に進捗した内容を示す。

	漏洩・腐食等状態により処理に問題がある機器 形状・構造が特殊な機器			搬出・搬入に問題がある機器		
	劣化機器類 (漏洩・腐食・破裂・破損等の機器)		特殊機器類 (形状、構造、大きさが特殊な機器)			
	漏洩機器		腐食・破裂・破損等の機器	形状、構造が特殊な機器	大きさが特殊な機器	
	にじみ機器 (※1)	液漏れ機器			大型機器類・解体機器類	
	(保管現場対応の検討)	(運搬方法の検討)	(処理方法の検討)	(処理スキームの検討)	(現場解体方法の検討)	(抜油・部品取り外し方法の検討)
調査・検討内容	○補修方法の検討 (H20年度) <技術部会H21.3~21.7>	○ドラム缶等(消防法令上の容器)に収納できない液漏れ機器に使用する運搬容器(新型漏れ防止型金属容器)の検討 (H21年度)	○処理施設内で、液漏れ機器収納容器を開蓋するための容器内洗浄技術の検討 (H20~22年度) <技術部会H21.3~23.3>	○処理手間物等の現地確認 ○定量化・データベースの構築、更新 ○対応方針の検討 ○年次処理計画の試算 等 (H19~24年度)	○現場洗浄技術(気化溶剤循環抜油方法)の検討 (H20年度~) <技術部会H21.3~> ○現場解体技術の検討 <技術部会H24.7~>	○現場抜油技術、現場部品取り外し技術の検討 (H15~20年度) <技術部会H15.5~21.3>
調査・検討の成果	○適正な補修の実施により健全機器と同様に運搬・処理可能	○当該運搬容器(新型漏れ防止型金属容器)の開発	○当該洗浄技術の確立 ○当該洗浄技術の適用性の確認	○処理手間物等データベースの構築 ○処理手間物等対応基本方針の策定 ○年次処理計画の試算	○気化溶剤循環抜油方法による抜油後機器内の気相濃度低減効果の確認 ○現場解体作業手順の確認 ○現場解体作業による一般環境・作業環境への影響がないことを確認	○現場抜油技術の確立 ○現場部品取り外し技術の確立
成果の事業への反映	【反映済み】 ○PCB漏洩機器補修確認試験事例集の策定(H21.11)	【反映中】 ○処理施設入門許可業者(収集運搬業者)による新型漏れ防止型金属容器の製作	【反映中】 ○処理施設の設備改造(漏洩機器対応)	【反映中】 (対応方法) ○保管事業者対応措置 ○効率的な処理方法の検討を継続 ○治具等の製作・使用 ○処理施設の設備改造 ○エリア間移動	【反映予定】 ○現場解体作業に係る報告書の策定 ○現地現物調査を踏まえた個別機器ごとの調査票の作成及び対応方針の策定	【反映済み】 ○報告書の策定(大型トランス等に係る現場解体作業) (H16.4、H21.3) <技術部会H16.3、21.3> ○保管現場で抜油、部品取り外しの実施
現在の対応状況	各事業所で受入中	各収集運搬業者が順次、新型漏れ防止型金属容器を製作し受入中	各事業所で順次、受入中	各事業所で順次、受入開始	現場解体を要する機器を受入予定	各事業所で受入中
成果の国の施策への反映	○改訂収集運搬ガイドラインに追記(「目止め材による漏洩防止措置の留意事項」・漏洩防止措置選定フロー) 【H22.6】	○改訂収集運搬ガイドラインに追記(液漏れ機器の具体的な運搬方法、漏洩防止措置選定フロー等) 【H22.6】				○改訂収集運搬ガイドラインに追記(液抜き・解体) 【H18.3、H22.6】